

産科婦人科



副院長
診療科長
高倉 賢二

専門医資格等 日本産科婦人科学会専門医・指導医・代議員
日本婦人科腫瘍学会専門医
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
日本婦人科腫瘍学会 評議員
日本産科婦人科内視鏡学会 評議員
日本内分泌学会 代議員
日本受精着床学会 評議員
京都大学 医学博士
京都大学医学部 非常勤講師
京都大学医学部 臨床教授
三重大学医学部 非常勤講師
三重大学医学部 リサーチ・アソシエイト
三重大学医学部 客員教授
関西医科大学 臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍
産婦人科手術
内分泌疾患の診断・治療

□ スタッフ

平成27年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部長	北岡 有喜	日本産科婦人科学会専門医・京都大学医学博士	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学	
産科婦人科医長	高尾 由美	日本産科婦人科学会専門医・指導医・京都大学医学博士・日本医師会認定産業医	産婦人科一般	婦人科腫瘍 不妊症
産科婦人科医長	住友 理浩	日本産科婦人科学会専門医・指導医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コースインストラクター・ALSO-Japan認定インストラクター	産婦人科一般	婦人科腫瘍・周産期救急・リスクマネジメント
医師	宇治田 麻里	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	産婦人科一般
医師	和田 美智子	日本産科婦人科学会専門医・日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般
医師	川村 洋介	日本産科婦人科学会専門医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	
医師	中木 絢子	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	
医師	高倉 賢人	日本産科婦人科学会専門医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	
専修医	小椋 恵利		産婦人科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本産科婦人科学会 専攻医指導施設 日本婦人科腫瘍学会認定研修施設 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医制度研修施設(指定) 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医研修施設
-------	---

～産科～

何よりも安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を提供します。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます大切なものとなってきていると考えています。

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腔式手術、小開腹手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

□ 診療（業務）内容

～産科～

1. 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
2. 分娩（出産）は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科（NICU）・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。
合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。2015年度の周産期救急搬送（母体搬送）の受け入れ件数は39件で地域の周産期救急にも積極的に貢献しています。医学的根拠に基づいた安全で安心なお産を提供すべく、日々努力しています。
3. 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。

～婦人科～

1. 治療前のインフォームド・コンセントを重視します
十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
2. 幅広い婦人科疾患に対応します
充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広い婦人科疾患に対応可能です。
3. 低侵襲手術を行います
女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性（癌）の疑いのない腫瘍に対しては、積極的に低侵襲手術（腹腔鏡下手術、腔式手術、小開腹手術）を行い、早期の社会復帰を目指します。
4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います
京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会認定施設に指定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。
5. 更年期からの健康管理を推進します
直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期（50歳前後）からの健康管理が重要になります。更年期障害や骨粗鬆症などの女性特有の疾患に対応するため更年期からの健康管理を推進します。

□ 診療実績(平成27年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
29名	1,376名	8日

外来患者数

1日平均患者数
72名

主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	悪性腫瘍手術
592件	172件	185件	48件
腹腔鏡下手術	腔式手術		
76件	194件		

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	学会名・演題・演者
国内学会	第67回日本産婦人科学会学術講演会 母子ともに救命し得た劇症型A群連鎖球菌感染症「分娩型」の1例 下園寛子 住友理浩 中木絢子 川村洋介 秦さおり 奥田亜紀子 伊藤美幸 江川晴人 高尾由美 山本紳一 北岡有喜 高倉賢二 2015.4.10 横浜市
研究会	第132回近畿産科婦人科学会 子宮体癌術後補助化学療法後に肝門部結核性リンパ節炎を発症し、消化管内視鏡下に診断し得た一例 秦さおり 下園寛子 平田侑里子 中木絢子 川村洋介 奥田亜紀子 住友理浩 高尾由美 江川晴人 北岡有喜 山本紳一 高倉賢二 2015.6.27 神戸市
研究会発表	第8回温知会サマーカーニカルフォーラム 当院における双胎妊娠症例の現状と経膈分娩症例で分娩時出血量が増加した要因についての検討 川村洋介 江川晴人 下園寛子 高倉賢人 中木絢子 秦さおり 奥田亜紀子 住友理浩 高尾由美 北岡有喜 高倉賢二 2015.7.20 京都市
国内学会	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 悪性卵巣腫瘍に併存した典型的な子宮筋腫と考えられた腫瘍が子宮平滑筋肉腫であった1例 下園寛子 住友理浩 高倉賢人 中木絢子 川村洋介 秦さおり 奥田亜紀子 高尾由美 江川晴人 高倉賢二 2015.8.8 盛岡市
国内学会	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 子宮体癌術後補助化学療法後に肝門部結核性リンパ節炎を発症し、消化管内視鏡下に診断し得た一例 秦さおり 下園寛子 高倉賢人 川村洋介 中木絢子 奥田亜紀子 住友理浩 高尾由美 江川晴人 高倉賢二 2015.8.7 盛岡市
国内学会	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 周術期管理に苦慮した30kgの巨大卵巣腫瘍の一例 奥田亜紀子 下園寛子 高倉賢人 川村洋介 秦さおり 住友理浩 高尾由美 江川晴人 高倉賢二 2015.8.7 盛岡市
国内学会	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 リンパ節転移を疑わせるリンパ節腫大がリンパ脈管筋腫症によるものであった卵巣癌の1例 住友理浩 伊藤美幸 下園寛子 平田侑里子 高倉賢人 川村洋介 中木絢子 秦さおり 奥田亜紀子 江川晴人 高尾由美 高倉賢二 2015.8.9 盛岡市
国内学会	第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 原発性腹膜癌14症例の臨床的検討 高尾由美 下園寛子 平田侑里子 中木絢子 川村洋介 秦さおり 奥田亜紀子 住友理浩 江川晴人 高倉賢二 2015.8.8 盛岡市
研究会発表	京都周産期カンファレンス 産褥大量出血をきたした癒着胎盤症例に対し、開腹子宮縫合(Square suture変法)を行い、子宮温存し得た1症例 住友理浩 江川晴人 下園寛子 高倉賢人 中木絢子 川村洋介 秦さおり 奥田亜紀子 高尾由美 北岡有喜 高倉賢二 2015.10.10 京都市
研究会	平成27年度京都産科婦人科学会学術集会 宗教的無輸血患者に対して行ったBEP療法の副作用への対応 高倉賢人 中木絢子 江川晴人 下園寛子 川村洋介 秦さおり 奥田亜紀子 住友理浩 高尾由美 高倉賢二 2015.10.17 京都市
研究会発表	第7回京都婦人科鏡視下手術研究会 超音波凝固切開装置による熱損傷で発生したと思われる遅発性膀胱腫瘍の一例 秦さおり 奥田亜紀子 下園寛子 高倉賢人 中木絢子 川村洋介 住友理浩 高尾由美 高倉賢二 2015.12.12 京都市
研究会	日本産婦人科医会 母と子のメンタルヘルスフォーラム 当院における虐待未然防止への取り組み 江川晴人 2015.7.5 東京都
研究会発表	児童虐待未然防止研修会 妊産婦のメンタルヘルスケアー妊娠・出産・子育てを地域で支えるために 江川晴人 2015.9.5 京田辺市
教育講演	京都府委託事業 京都府看護協会「産前・産後訪問支援員養成講座」ハイリスク妊産婦への支援ーハイリスク妊娠・出産・産褥期の疾患、合併症、治療について 江川晴人 2015.10.12 京都市

□ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名
高尾由美 伊藤美幸 関山健太郎 秦さおり 山西優紀夫 上田優輔 江川晴人 高倉賢二	特異な毒性医学的背景と家族集積性を有した腔原発悪性黒色腫の1症例 2015.6;33(3):706-711	日本婦人科腫瘍学会雑誌
高倉賢二 住友理浩 秦さおり	解剖レクチャー～女性骨盤臓器 2015.11;317-321	研修医のための見える・わかる外科手術
高倉賢二 住友理浩 秦さおり	子宮頸部円錐切除術 2015.11;322-327	研修医のための見える・わかる外科手術
住友理浩 高倉賢二	子宮筋腫核出術 2015.11;328-331	研修医のための見える・わかる外科手術
秦さおり 高倉賢二	付属器切除術 2015.11;332-333	研修医のための見える・わかる外科手術
秦さおり 高倉賢二	卵管切除術 2015.11;334	研修医のための見える・わかる外科手術
秦さおり 高倉賢二	付属器腫瘍核出術(卵巣腫瘍核出術) 2015.11;335-337	研修医のための見える・わかる外科手術
秦さおり 高倉賢二	腔式子宮全摘術 2015.11;338-341	研修医のための見える・わかる外科手術
住友理浩 高倉賢二	腹式単純子宮全摘術 2015.11;342-346	研修医のための見える・わかる外科手術
住友理浩 高倉賢二	腹式広汎子宮全摘術 2015.11;347-350	研修医のための見える・わかる外科手術